

令和4年度 特別の教育課程（立川市民科）の実施状況等について

令和4年度 学校における自己評価

立川市民科の取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の農家の方との関わりを通して、食生活への意識が高まった。 ・小中連携の取組で中学校区の小学生の学習活動に関わることを通して、地域等に貢献する意識が高まった。 ・職場体験の事前事後学習等を通して、身近な地域の暮らし（職業）を捉え、体験を含めた理解を深められた。
立川市民科の取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒アンケートから、探究的な学習ができたか分からないと回答した生徒の割合が10%を超えている。

令和4年度 学校評価より

① 対象：児童・生徒

立川市民科では、自分で立てた課題について、情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現することができた。

(割合)

そう思う	概ねそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない
26.2%	52.4%	8.9%	1.8%	10.7%

② 対象：保護者

立川市民科では、探究的な学びの実現に向けて組織的に取り組んでいる。

(割合)

そう思う	概ねそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない
38.7%	51.8%	0.7%	1.5%	7.3%